



藤垣裕子

東京大学大学院総合文化研究科教授

専門は科学技術社会論・科学計量学。東京大学大学院で博士号を取得。2000年東京大学総合文化研究科広域システム科学系助教授、2007年准教授、2010年より現職。2015年4月から2017年3月にかけて、東京大学大学院総合文化研究科副研究科長・教養学部副学部長を兼務。科学技術社会論学会前会長（2013-2016年度）。また、2010年に東京で開催された国際科学技術社会論学会（4S）と科学技術社会論学会の合同会議の実行委員長を務めた。著書に『専門知と公共性：科学技術社会論の構築にむけて』（東京大学出版会、2003）、編著に『科学技術社会論の技法』（共編）（東京大学出版会、2005）、『科学コミュニケーション論』（共編）（東京大学出版会、2008）、*Lessons from Fukushima : Japanese Case Studies of Science, Technology and Society* (Springer, 2015)。ドイツ、オーストラリア、中国、台湾等で招待講演を行う。専門誌 *Social Studies of Science (SSS)*, *Science and Public Policy*, *East Asian Science, Technology and Society: An International Journal (EASTS)* の編集委員。国内の委員では、国立国会図書館における科学技術情報の整備計画について、国立国会図書館長の諮問に答え調査審議するために設けられた「科学技術情報整備審議会」の委員を務める（2014-）。このほか、科学技術振興機構社会技術研究センター「科学技術と人間」領域アドバイザー（2007-2013）、日本学術会議連携会員（2011-2016）、日本学術振興会先端科学シンポジウム（FOS）事業委員（2011-）、文部科学省科学技術・学術審議会委員（2012-2014）、内閣府総合科学技術・イノベーション会議専門委員（2014-2015）など。